

手話を使ひきみく——

「優しい」と「笑顔」の手話はよく似てて 春風みたいなきみの指先

東京都世田谷区 川上真央さん (17歳) の作品

(第30回の上位入賞作品についてはHPに掲載しています)

岡麓(おかふもと)へ——

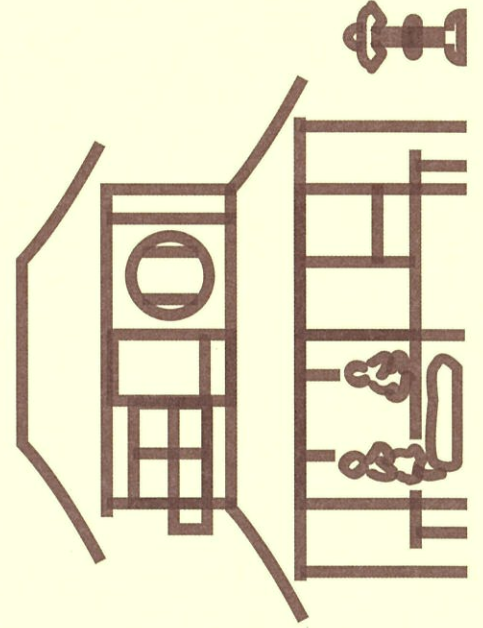
十四日、才登スギヨリ、歌ヲヨミニ、ワタクシ内へ、オイデクダサレ

(明治三十二年 子規)

第31回

はがき歌

「はがき歌」全国コンテスト



【一般部門】「誰か」「何か」「何か」に想いを伝えるもの  
【特別部門】テーマ「愚陀佛庵」

優秀賞 (松山市長賞)  
には副賞として  
旅行券5万円分  
など

応募締切  
令和7年

11月5日(水) 当日消印有効



松山市立子規記念博物館  
(指定管理者: 株式会社バスコーポレーション)  
<https://shiki-museum.com/>

郵便はがき

790-0857

85円切手をお貼りください

愛媛県 松山市 道後公園 1-30

松山市立子規記念博物館内

はがき歌

全国コンテスト係

# 第31回「はがき歌」 全国コンテスト 募集要項

## 応募資格

応募資格は問いません。(どなたでも応募できます)

## 形式

短歌形式(5・7・5・7・7の31文字)の便り

(難読漢字にはふりがなをつける)

## 内容

### 【一般部門】

「誰か」・「何か」に想いを伝えるもの  
(例：近況報告、ラブレター、お礼、お見舞い等)

### 【特別部門】

#### テーマ「愚陀佛庵」

1895年(明治28年)、子規が、松山に赴任していた夏目漱石の下宿先「愚陀佛庵」で共に52日間を過ごしてから130年が経ちます。のちに「近代小説の文豪」、「近代俳句の祖」と称された漱石と子規。俳句仲間が集い、友情をばぐくみ、二人の文学活動に大きな影響を与えた「愚陀佛庵」をテーマに作品を募集します。

## 応募方法

はがきに縦書きで、作品(特別部門はテーマに沿った内容のもの)とその宛名「〇〇へ」(例：家族へ、友へ、ペットへ、愛用の物へ等)を書き、住所・氏名・年齢・電話番号を明記して、子規記念博物館まで郵送ください。

はがき1週につき1作品とします。1人何通でも応募できます。

※作品は自作未発表のものに限ります。

※秀作を含む入賞作品の一切の権利は主催者に帰属します。

※作品の訂正、返却、取消等には応じません。

※応募時の個人情報等は適正に管理します。

## 応募先

〒790-0857 愛媛県松山市道後公園1-30  
松山市立子規記念博物館内  
「はがき歌」全国コンテスト係

## お申し込み・お問い合わせ

〒790-0857  
愛媛県松山市道後公園1-30  
松山市立子規記念博物館内  
「はがき歌」全国コンテスト係  
TEL 089-931-5566  
FAX 089-934-3416  
E-mail sikihaku@iesp.co.jp

キリトリ線

<input type="checkbox"/> 一般部門	<input type="checkbox"/> 特別部門
いづれかに✓を記入してください	
宛名	
第31回	

# はがき 全国コンテスト

住所	〒
フリガナ 氏名	電話番号 ( )
Eメール	
年齢	歳

## 応募締切

令和7年 11月5日(水)(当日消印有効)

## 主催

松山市・  
松山市教育委員会  
(子規記念博物館)

## 共催

愛媛県  
日本郵便株式会社四国支社 愛媛県教育委員会  
愛媛県市町教育委員会連合会 愛媛新聞社 朝日新聞松山総局  
読売新聞松山支局 毎日新聞松山支局 産経新聞社  
日本経済新聞社松山支局 NHK 松山放送局 南海放送 テレビ愛媛  
あいテレビ 愛媛朝日テレビ FM 愛媛 愛媛 CATV

## 審査員(順不同)

永田 紅 審査員長(歌人)  
吉田 類(酒場詩人)  
佐佐木頼綱(歌人)  
片上雅仁(松山歌人会会長)  
竹田美喜(松山市立子規記念博物館総館長)

## 表彰

- 〇優秀賞(松山市長賞) 1点 賞状・副賞(旅行券5万円分)
- 〇優秀賞(松山市教育長賞) 1点 賞状・副賞(旅行券3万円分)
- 〇特別賞(愛媛県知事賞) 1点 賞状・記念品
- 〇特別賞(日本郵便株式会社四国支社長賞) 1点 賞状・記念品
- 〇審査員特別賞 5点 賞状・記念品
- 〇佳作 100点 賞状
- 【特別部門】
- 〇特別部門大賞 2点 賞状・記念品
- 〇特別部門賞 28点 賞状

## 発表と表彰式

表彰式 令和8年3月20日(金・祝)  
入賞者には3月上旬頃通知します。